

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	生産性向上・コスト削減
事業名	環境にやさしいドライミニラボを導入した写真店の継続		
事業概要	従来の設備から、省電力で環境にも優しい「ドライミニラボ（写真プリントを自動処理する小型プリンター）」に移行し、新たなサービスとして「動画変換保存サービス」や「証明写真のデータ販売」を開始する。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	<p>①内製プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真をプリント ・証明写真の撮影、写真修正、遺影撮影写真 ・フォトキーホルダー、昇華転写グッズ作成、販売 <p>②アルバム、フォトフレームなどの写真関連用品販売</p> <p>③メディア、ビデオテープからのDVDダビング（外注）</p> <p>④他社製品取次（外注）</p>		
取組内容	<p>ドライミニラボを導入し、新たに以下のサービスを開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動画変換保存サービス 「スマートフォンで撮影した動画をDVDにしてほしい」、「メモリーがいっぱいになって撮影ができなくなった」との要望に応えるため、新たな設備導入（ドライミニラボ）により、外注していた作業を内製化する。 ●証明写真のデータ販売 顧客のプライバシーやセキュリティー面を考え、二次元コードを発行し、データをダウンロードしてもらう新システムを導入する。 		
補助事業の効果・成果	<p>ドライミニラボは従来の設備よりも省電力で薬液を使用しないため環境に優しい特徴がある。これにより、光熱費等の固定費削減も見込まれる。また、今回の取組みにより、様々なデジタル需要に対応できる時代に沿った店舗経営が可能である。</p>		
参考となるポイント等	<p>スマートフォンやタブレット等の普及による写真プリント数の減少に対応するため、従来の写真印刷機を最新の設備（ドライミニラボ機）に更新することにより、コスト面や性能面の向上を期待できることに加え、薬液を使わない印刷技術を採用することにより、環境面への配慮も考えている事業内容であることから、他の事業者にも参考になると考える。</p>		